【調査】夫婦の寝室事情
夫婦の寝室、別への分かれ道は「結婚10年目」に起こる！？
42.5%の子持ち夫婦が「寝室は別々」と回答。

【調査】夫婦の寝室事情
夫婦の寝室、別への分かれ道は「結婚10年目」に起こる！？
42.5%の子持ち夫婦が「寝室は別々」と回答。

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：川合
大無）は、「リビンマッチ」を利用した30歳以上の子持ち既婚者男女全国268人を対象に「夫婦の寝室事情」について調査しました。

【調査結果サマリー】
・ポイント１　子持ち夫婦の42.5%は「寝室が別々」と回答。
・ポイント２　夫婦の寝室が別れるのは「結婚10年目」が最多！
・ポイント３
寝室が別室でも「クイーン」サイズのベッド派は10%強も。王道はやっぱり「シングル」。

「夫婦の寝室が一緒か別かは自宅の間取りにも関係する？」
リビンマッチを利用した子持ち既婚者に「夫婦の寝室」を聞いたところ、『同室』（57.5%）、『別室』（42.5%）となりました。
つぎに、「婚姻期間」を聞きました。「同室」「別室」共に『25年～50年未満』（同室：59.7%、別室：61.4%）が最多で、次いで『10年～25年未満』（同室：29.9%、別室：28.1%）となり、「同室」は『1年未満』（0.7%）、『1年～3年未満』（1.9%）いたものの、「別室」は『1年未満』『1年～3年未満』が0%でした。

つづいて、「自宅の間取り」を聞いてみました。「同室」は『4LDK』（29.9%）、『3LDK』（20.1%）、『6LDK』（8.4%）、『5LDK』（7.8%）、「別室」は『3LDK』（31.6%）、『4LDK』（18.4%）、『5LDK』（11.4%）、『6LDK』（9.6%）となり、「別室」よりも「同室」の方が自宅の間取りに若干余裕があることがわかりました。

「寝室が別々になる理由１位は『ゆっくり寝たい』、2位は『生活のリズムが異なる』」
寝室が別室の人はどうして別々になったのでしょうか？『ゆっくり寝たい』（43.9%）と『配偶者と生活のリズムが異なる』（38.6%）との回答が多く、以下『配偶者とプライベートを分けたい』（17.5%）、『配偶者のいびきがうるさい』（13.2%）、『配偶者が子どもと寝る』（12.3%）、『配偶者と仲が悪い』（4.4%）、『その他』（1.8%）となり、『その他』には、「別居中」や「私は布団派、妻はベッド派」との回答がありました。

では、結婚何年目から寝室が別室になったのでしょうか？最も多かったのは『10年目』（18.4%）、以降『20年目』（14.9%）、『30年目』（10.5%）と区切りの良い年数が多い結果となりました。また、『1年目』『3年目』（共に7.0%）、『2年目』（1.8%）、『5年目』（7.9%）など結婚歴が5年以下の夫婦でも23.7%が別々に寝ていることもわかりました。

「夫婦のベッドサイズは同室『ダブル』、別室『シングル』が過半数超え。『セミダブル』と『クイーン』は大差なし。」
今度は、「寝具の種類」を聞きました。『ベッド派』（同室：55.2%、別室：67.5%）、『布団派』（同室：44.8%、別室：32.5%）となり、共に『ベッド派』が多いものの、「別室」の方がより『ベッド派』が多いこともわかりました。
つづいて、「夫婦のベッドのサイズ」を聞いたところ、「同室」は『ダブル』（57.6%）が過半数を占め、『シングル』『セミダブル』（共に25.9%）、『クイーン』は10.6%、『キング』も12.9%となりました。一方、「別室」は『シングル』（50.6%）が過半数を占め、『ダブル』（44.2%）、『セミダブル』（29.9%）、『クイーン』も10.4%となりましたが、『キング』は0%でした。

＜調査概要＞
■調査期間：2018年11月22日 ~12月12日
■調査手法：インターネット調査（任意でアンケートに回答）
■集計数：「リビンマッチ」を利用した30歳以上の子持ち既婚者男女全国268人
■調査リリースURL: https://www.lvnmatch.com/magazine/article/column/lvn_research/7668
※本リリース内容の転載にあたりましては「リビンマッチ調べ」という表記をお使いいただけますよう、お願いいたします。

＜リビンマッチについて＞
「住まいや住生活に関するマッチングサイト」という思いを込めた不動産サービス・価格比較のポータルサイト。2006年に運営を開始し、1,400社以上の不動産会社が加盟。不動産売却、不動産買取、賃貸管理、土地の活用、リノベーション、注文住宅など幅広いサービスを提供。また、不動産業界の求人・転職情報サイト「リビンマッチ
不動産求人情報」や、不動産・住宅関連業界のビジネスパーソン向け情報サイト「リビンマガジンBiz」など、不動産業界のビジネスパーソンもしくは不動産ビジネスに興味があるユーザー向けのサービスも提供。
URL：https://www.lvnmatch.com

＜リビン・テクノロジーズ株式会社について＞
所在地：東京都中央区日本橋堀留町1-8-12 さくら堀留ビル 8F
代表者：代表取締役 川合 大無
設立年：2004年1月

事業内容：不動産プラットフォーム事業（WEBテクノロジーと不動産を融合したプロダクトの開発と運営）
不動産バーティカルメディア / 不動産業務支援システム / 不動産業界向け人材サービス / インターネット広告
URL：https://www.lvn.co.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
リビン・テクノロジーズ株式会社 管理本部 広報担当 マネージャー 小林
E-mail：press@lvn.co.jp　TEL：03-5847-8558　FAX：03-5847-8559

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com